

駒ヶ根市文化財

名称	光前寺大阿闍梨寂応塔(阿弥陀如来像)
種別	美術工芸品(彫刻)
指定	市・有形民俗文化財(令和3・1・27)
所在地	赤穂29
所有者	光前寺
説明	<p>大阿闍梨寂応塔は、光前寺の歴代住職の墓地に安置されている。大阿闍梨寂応塔の上に蓮華があり、その上に阿弥陀如来が座している。</p> <p>この大阿闍梨寂応塔は、品質は輝緑岩と思われる。制作年代は文政10年(西暦1827年)もしくは文政8年(西暦1825年)。大阿闍梨寂応塔の高さ90cm、阿弥陀如来像の高さは80cmである。守屋貞治が、親交のあった光前寺住職「寂応」のために心を込めて彫ったと言われている。</p> <p>守屋貞治が生涯に刻んだ石仏は、彼自身が晩年に記述した「石佛菩薩細工帖」により、336体が記録されているが、阿弥陀如来像については、唯一この作品だけであり、伊南地方では最高傑作と言われている。</p>

